

米沢有為会 東京支部だより

vol. 21

発行／(公社)米沢有為会東京支部 発行人／加藤 国雄 発行日／平成29年9月10日
〒182-0004 東京都調布市入間町1-3-6 東京興議館内 TEL/FAX 03-3309-3302
米沢有為会ホームページ <http://www.yonezawa-yuukai.org/>



東京支部総会 笑顔の記念写真

巻頭言



良き伝統に新しきも加えて

米沢有為会会長 大滝 則忠

平成20年6月刊『東京支部だより』第7号掲載の「教育界の先覚者本間則忠のこと」と題する小文で、大正11年4月我が国初の私立七年制旧制武蔵高等学校の創立実務を仕切った先達を扱いました。本間は明治23年夏に創立直後の有為会に入会、昭和3年春に東京中村橋の富士見高等女学校長の職を退いて米沢に転居し、昭和13年10月に逝去しました。

本間は川西町玉庭の近所生まれ、79歳の隔たりあるものの、同じ生地同じ名、同じ学窓（高等師範学校卒）、そして米沢有為会、それぞれ全くの偶然ながら、浅からぬ縁です。さらに、本間の実の甥で養父の事務総長、愛知大学創設者となった本間喜一が私の大学保証人という縁も重なります。喜一も帝大生時代の明治44年、開設直後の東京興議館寮生を経験しました。

そして昨年春で辞職して新生活を始めた私のもとに、地元から本間則忠の書簡等の遺品が出てきたので見てほしいとの連絡が入りました。本間は卒業4年後に文部省属となり、40歳で難関の高文試験合格、島根・山梨・鳥取・大分・栃木の各県幹部として転勤、文部省に戻って退職、一方、鉄道王根津嘉一郎の新学園設立構想を実現させ、さらに自ら学校を経営しましたが、米沢に転居後、玉庭の実家に板倉を建てて私物を収めます。その経歴から、急きよ武蔵学園、愛知大学、地元川西町教育長に参加を請い、遺族親類と共に真夏の1日の汗と埃だらけの現地調査を行った結果、関係者相談のうえ、膨大な遺品を段ボール箱12箱に詰め、東京江古田の武蔵学園記念室に搬送しました。

その後、昨年9月初から武蔵学園記念室での整理が始まり、私は週1回の手伝い、これまで50回を精勤して遺品の書簡等のデータ入力中で、ここまでよくぞ遺しているかと驚嘆しきり。整理に時間を要し、1年間でようやく4箱目の途上、狭山に住む私の甥も手伝い、9箱目の箱開け中であるものの、全体の整理完了まで数年を要する見込みです。

折から武蔵学園百年記念事業が進行する時期の新たな根津書簡等の発掘で、学園関係者からも期待大です。また、叔父の下に玉庭から11歳で上京した喜一の一高入学以来の多数の書簡類も含まれています。

私は今、米沢有為会の長い歴史を実感させられています。本間が有為会を通じて平田東助の知遇を得、根津に平田を紹介、その結果、初代校長一本喜徳郎、第二代校長山川健次郎等の活躍が生まれます。また今も現役の校章は、一本の美大生の息子の原案に伊東忠太が手を入れたものの、百年の時の経過を感じさせません。

このたび思いがけず、米沢有為会の第15代会長に就任いたしました。郷土愛を基盤にしつつ、郷土置賜3市5町の若人の育英活動を行うと同時に、会員相互が率直な交流を通じて切磋琢磨する良き伝統のもと、再来年には創立百三周年を迎える時期に際し、新しきも加えながら、今活動すべき重点を考え、着実に取り組むべく、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

（米沢興議館高校から東京教育大学文学部卒。国立国会図書館に奉職。退職後に東京農業大学教授を経て、平成24年4月から丸4年間、国立国会図書館長）

第20回文化大学

平成28年9月25日(日)

於・東京興議館

今後の日本の有人宇宙開発について

国立研究開発法人

宇宙航空研究開発機構 名誉教授 上杉 邦憲

ガガーリンに始まる米ソの有人宇宙開発競争は冷戦の産物という側面が否めず、国威発揚が主目的で、科学探査の比重は小さかったと言わざるを得ません。

アポロ計画は1969年アポロ11号から、1972年の17号まで続けられ、合計12人が月に送られました。人類はその後、月にやっていないし、現在はその能力を持っていません。

宇宙探査と聞いて多くの人が興味を抱くのは火星でしょう。アメリカは「2030年までに有人火星探査を行いたい」としていますが、アポロの時代と同じく、その主目的は国威発揚であるように感じられます。

また有人探査では費用対効果の問題も大きく、アポロ計画のように莫大な資金を投じて、それに見合った科学的成果がなければ意義が薄いでしょう。

有人探査がその先に想定しているのは、有用な資源の発見や、地球外惑星への人間の定住という見方があります。2009年7月にNASAが公聴会を開き、これからの宇宙探査、特に有人探査はどうあるべきかについて、議論しました。議長は宇宙探査の意義を「人類の文明を地球外

に広める」と総括し、「いずれ火星に恒久的に人類を存在させる。そのためにはコストがかかり、強力なサポートを必要とする」と述べ、NASAに「火星の有人探査予算を



つけて欲しい」と言っています。「科学的探査には有人探査が必要」では予算を得られにくいため、このような表現をしたのだと思われます。では実際に「火星に人類を定住させる」ことは可能でしょうか？火星の気圧は100分の1気圧程度で、酸素も水も殆どありません。気温は場所によりマイナス100℃ほど。

重力は地球の約3分の1で、磁場がほとんどないため大量の放射線が降り注ぐ。

たとえ空気や水は供給できたとしても、火星の重力に適合して育った定住者の2世、3世は地球に還ることができないはずだ。

最大の問題は放射線で、火星への旅では1年で60Gy(ミリシーベルト)の放射線を被爆すると言われています。地球上で人が浴びる放射線は年平均2.4mSv、レントゲン業務に携わる人の年間許容被爆量上限は50mSvです。

宇宙飛行士の若田光一氏は積算でほぼ1年宇宙に滞在し、約30mSvを浴びました。人は100mSvを被爆すると命にかかわるので、約3年かかる火星までの往復は困難で、まさに定住など不可能と言ってしまうでしょう。

民間人の宇宙旅行は将来の有力分野

これからの有人宇宙開発の意義は、国威発揚以外に求められるべきであり、私は有人宇宙開発を「友人宇宙開発」にすることを提唱します。それは、誰もが簡単に宇宙に行けるようになるための開発を意味しています。

日本は国際宇宙ステーション(ISS)に実験装置「きぼう」や補給機「こうのとり」を送り込み、宇宙飛行士も活躍しています。しかしそのISSの運用は2024年に終了予定で、その先の有人宇宙計画について、国として方針は未だ定まっています。

一方で、民間による「友人宇宙探査」に関して、世界の動きは活発になっていきます。例えば、地球周回軌道上に「宇宙ホテル」を打上げる計画があります。

宇宙ホテルの内部に空気を満たします。円筒形のホテルを回転させて、壁際に1Gの重力を与えても、回転軸の辺りは無重量なので、水を張れば壁際は普通のプール、回転軸の付近では水玉が浮いたりすることになります。また腕に翼を付けて鳥のように飛ぶこともできます。こういうホテルを想像すると、夢が膨らみます。

ただし放射線の影響を受けるため、従業員が長期間そこで働くことはできず、宇宙ホテルのスタッフの多くはロボットになるでしょう。

そうした宇宙旅行のために、アメリカは既に10カ所ほどの商業用スペースポールの建設を認可しています。他に世界8カ国で同じような構想が練られています。

日本では北海道大樹町の広大な敷地を利用して、ロケットの打ち上げも可能な総合的なスペースポートを造る計画があります。

火星移住のような非現実的な宇宙開発より、私たちは「友人宇宙開発」の分野に力を入れるべきではないでしょうか。



平成28年10月21日
JAXA 相模原キャンパスにて



国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 ISAS/JAXA
宇宙科学研究所

2016.10.21

第21回 文化大学

平成29年4月29日(土)

於・東京興譲館

鎌倉の緑と景観を守るNPO

日本景観学会理事 渡辺光子



(1) 鎌倉の緑と風致を守る市と市民

鎌倉市(人口17万人余)は海に面し三方を丘陵に囲まれている。森林や緑地は、社寺や文化財と同じく鎌倉らしい景観を形成する重要な要素である。しかし、戦後の大規模開発などにより、樹林被率は32.48%(2013年市統計)にまで減少し、谷戸(やと)にまで減少し、谷戸(やと)切通し、やぐらといった鎌倉特有の風致が失われた。このため、鎌倉市は34もの法令などを駆使し保全に努めている。市域の55.5%を風致地区に指定し、低層建築や緑化を市民に義務づけている。結果、鎌倉は毎年2千万人もの人々が訪れる美しいまちとなった。

市民は、乱開発の計画がもちあがる度に力をあわせ、緑と風致を守り続けている。

(2)「鎌倉風致保存会」による日本初のナショナル・トラスト

東京オリンピックの年、鶴岡八幡宮の裏山(御谷の森、おやつのもり)を宅地開発する計画がもたらがった。これを阻止するため地元住民、僧侶、文化人が立ち上がった。大佛次郎は、「市民から寄付を募り、残したい土地や建物を購入・保存する英国のナショナル・トラスト」を全国に紹介し、協力を呼び掛けた。「鎌倉風致保存会」を設立し寄付金で御谷の森を買い取った。日本初のナショナル・トラストである。1965年には、超党派の議員を動かし「古都の歴史的景観を乱開発から守るための古都保存法」を誕生させた。こちらも日本初の世論立法であった。

(3) 市民参加で活性化

その後暫く休眠状態が続いた「鎌倉風致保存会」だが、「人々の参加」によって活性化した。1996年から緑地保全作業のボランティアを募り1998年から会員制とした。現在450人の会員が、4つのトラスト緑地約8万㎡と旧坂井邸洋館(昭和2年築、国

の有形文化財、遺贈)を所有管理している。その財源となった寄付金は総額二億千七百万円(2014年現在)にのぼる。

活動の中心は「みどりのボランティア」である。会のトラスト緑地、史跡、社寺など11カ所で下草刈りや倒木処理といった作業を年40回行い、延べ約2千人が参加している。市内の中学生7百人も山の手入れや海岸清掃に参加している。市内外の学校、企業、各種団体からも自然学習体験にやってくる。その他、里山ふれあい祭り、植樹会、栗拾いなど、会員自らが楽しい催しを企画し、参加の輪を広げている。市はハイキングコースのパトロール事業を委託し人材や資金面でも支援している。

(4) NPO(民間非営利組織)の目的は社会貢献

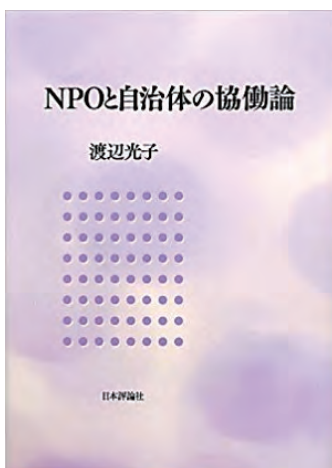
「人や社会の役に立ちたい」というのは人間の善性なのである。世界各地で、人々は結社し、社会貢献に励んでいる。国際調査によれば、こうした組織の呼称はまちまちだが目的と要件は共通している。「目的・公共の福祉への貢献即ち社会の課題解決。要件・組織、非政府・民間、非営利・利益の非分配、自治、自発性」。非営利組織は、事業収益から人件費などの経費をひ

いた純利を分配せず内部補留保し、解散時には残余財産を公共団体やNPOに寄付することが法律で規定されている。日本には、民法及び120余りの特別法を根拠とする多様なNPOが存在し、その数は年々増加している。NPO、企業、行政が各々の特性を生かし協働することで、より豊かな社会が創られる。NPOの草分けである「米沢有為会(公益社団法人)」には、奨学金と寮を媒介に、世代間の貴重な交流が常在する。

この幸運な出会いを若者たちがどのようにに人生の糧とし、会と社会に還元していくのだろうか、大いに楽しみである。(プロフィール)

仙台市出身 政法大学大学院博士課程(号研究) 修了
神奈川県議会議員
宮城県環境生活部次長 現在
「鎌倉市民フォーラム」代表著書

「市民力を活かす」ランダムハウス講談社(2008年)
「NPOと自治体の協働論」日本評論社(2012年)



第22回文化大学

7月8日(土)
於・東京興譲館

今も生きる上杉鷹山公

米沢市長 中川 勝



○上杉鷹山公の藩主としての心得

九州の小大名である秋月家に生まれた鷹山公が上杉家の養子になり、米沢藩の世継ぎとなったとき、まだ17歳の少年であった。そのときに読んだのが次の誓文である。

「受け継ぎて国の司の身となれば忘るまじきは民の父母」

鷹山公の「なせば成る なさねば成らぬ 何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」という有名な言葉があるが、意味するものは、「綿花やミカンの生産など雪国、極寒の地ではできないものに時間を費やしても労力の無駄だ。この米沢でできるものに全力で取り組み資源を生産することでより高い収益をあげることができ」という教えであったと考える。そして、この教えは、今の「地方創生」にも通じるものである。

鷹山公は、任について数年後厳しい財政状況の中、閉鎖さ

れていた藩校を再興し、興譲館と名づけた。館長には当代屈指の学者の一人で鷹山公の師、細井平洲先生を招いた。平洲先生は鷹山公に君主としての心構えを教えられたが、その中でも「学思考相まつて良となす」―学んだことはよく考え、実践して初めて学んだことになる―という教えは今も私どもの市政運営に通じるものである。

○米沢市の概況と今後の抱負
平成24年度の情報電子製造業・機械電気製造業・繊維衣服製造業などの製造品出荷額は、5371億円で東北地方において第6位であった。平成28年3月に、今後10年間のまちづくりの指針を示す「米沢市まちづくり総合計画」を作成した。『ひとが輝き 創造し続ける 学園都市・米沢』を将来像に掲げ、本市の地域特性の一つである「学園都市」に着目し、山形大学工学部・県立米沢栄養大学、県立米沢女子短期大学の発展を支え、大学と連携し挑戦する企業、共同研究する企業の育成に努めたい。また、今注目を集める有機エレクトロニクス等新分野から大学周辺に企業の研究所、試作開発施設、工場や地域企業の参画も促進し、政

策支援をしたい。

上杉の城下町として、また、地域の豊富な観光資源を生かして、観光にも力を入れている。米沢牛は、農林水産省の地理的表示保護制度(GI)に登録され、日本三大和牛の一つとして一層のブランド化が期待できる。子牛一頭の値段が70万円にも跳ね上がり、年間2千頭の出荷の目標には規模の拡大や子牛の値段の高騰など課題もある。

昨年度のふるさと納税の寄付額は、三十五億三千四百万円で県内トップ、全国でも7位だった。返礼品として8割の人気を集めたのが地元で製造されたノートパソコンである。しかし総務省からの見直し通知により、ノートパソコンの返礼は今年の7月末で終了した。

公立置賜総合病院は、置賜地方の二市二町(長井市・南陽市・川西町・飯豊町)と山形県が運営管理にあたり高度な医療ができる地域の拠点病院である。地域としては初めての救命救急センターも設置されている。

米沢市立病院は、施設の老朽化が進み、建て替えの検討に入っている。今年初め、市内の民間病院である三友堂病院と統合・連携を図ることで合意し、医師の確保や救急・夜間診療など、地域医療を守る観点で連携しなければなら

置賜三市五町のどの自治体も少子化の影響で中学校の統廃合が進んでいるが、小学校の統廃合は地域住民の理解がないと進まない現状である。財政状況をみると、住民税・法人税・固定資産税等の税収入の占める割合は、支出の55パーセントであり、不足分は地方交付税で補われている。

高齢化が進んでおり、いつまでも元気に長寿社会を生き抜き地域の一役を担っていたために、「健康長寿日本一」を目指し、対策本部を立ち上げた。いわゆるピンピンコロリの生き方を奨励したい。

置賜地方の三市五町は、いずれも止まらない人口減少の悩みを抱えており、今後ますます地域の連携が大事になってくる。置賜三市五町合意のもと、「定住自立圏構想」の中心都市としてリーダーシップを取り、置賜全体の活性化に向け取り組んでいく。地域の活性化のためにも、若者が郷里に戻りたくなるような市・町になるように努力してまいりたい。

プロフィール

【生年月日】

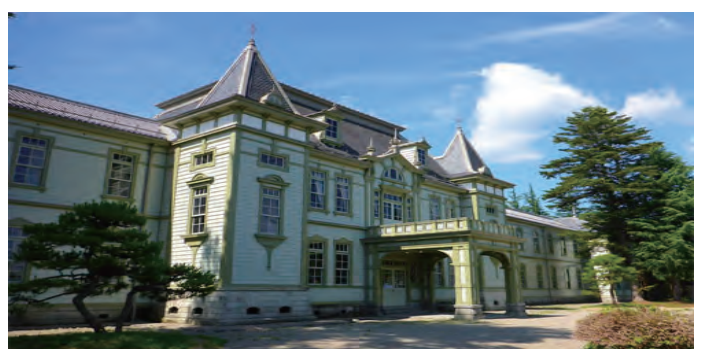
昭和25年7月7日生

【略歴】

山形県立米沢商業高等学校卒業
昭和58年4月 米沢市議会議員
初当選 連続5期20年を務める
平成9年5月 米沢市議会議員
平成15年4月 県議会議員初当選
連続3期12年を務める
平成27年12月 第36代米沢市長



公立置賜総合病院



山形大学工学部

新入寮生の出発を祝う

東京支部総会・懇親会・歓迎会

平成29年5月27日(土) 於：四谷 主婦会館プラザエフ

第一部の「定期総会」は、加藤国雄支部長が議長となり平成二十八年度の事業及び決算報告、平成二十九年度の事業計画(案)及び予算(案)が承認されました。また理事・監事任期満了に伴う改正案も承認されました。

第二部の「懇親会・歓迎会」は、伊藤秀太郎監事の司会で開催されました。ご来賓の須貝英雄会長よりご祝辞を頂きました。川合勝雄館長より寮生募集のPRが生きて、寮(定員二十四名)が

満室になった事が報告された。その後新入寮生の自己紹介と抱負を述べてもらいました。

さらに寮・奨学生OBでエネルギー総合工学研究所前専務理事の佐藤憲一様より学生に対して励ましの言葉(次頁に掲載)を頂きました。

続いて、東京大学名誉教授の西村純様のご発声で乾杯し懇親会に入りました。鈴木信之副支部長の一本締めで盛況のうちに終了しました。(川合記)

支部総会において新理事が承認されました。

承認されました。

留任理事

板垣 史朗 大田ひろみ

加藤 国雄 川合 勝雄

川井 陽一 倉田 和子

五雲 寺卓 佐藤 憲一

佐藤 好明 鈴木 信之

鈴木 吉助 羽隅 弘宣

林 常子 平山 英三

平山 和博 渡邊 忠義

加藤 正憲 近藤 郁子

小松 浩 澤田 美根子

赤井 淳一

片平 善造 滝澤 昭義

伊藤 貞治 吉澤 雄一

中川 紘一

佐藤 和彦

新任理事

退任された理事・監事の皆様長い間、ありがとうございました。

退任監事

退任理事

平成29年	新入奨学生名簿	学年	出身高校	出身地
下平健三郎	法政大学社会学部	1年	東北高校	米沢市
田中 歌乃	山形大学工学部	1年	米沢興譲館高校	南陽市
渡邊 志保	静岡大学大学院農学研究科	院生1年	米沢興譲館高校	米沢市

奨学生「私の志」

渡邊 志保

私は、四月から静岡大学大学院総合科学技術研究科農学専攻応用生物化学コースに所属し、研究に励んでいます。大学院に進学し、自分の頭で考えて計画・実行していく力、自分から学ぼうとする力に磨きをかけたいです。これらの力は、社会に出てからも、大いに活用できる力であると考えています。また、大学四年のときに母校で教育実習を行い教諭の大変さ・やりがいを知りました。この経験がきっかけとなり、「山形県の理科高校教諭」を目指すことを決意しました。そのために、大学院で専修免許を取得します。加えて、大学院に進学したからこそ学べる理科の専門性を磨き、理科の楽しさを多くの人に伝えられる人材になりたいと考えています。

新入寮生 私の抱負

梅津琉也(法政大学文学部、米沢興譲館)

私は文学部の哲学科に所属しています。

哲学科での4年間を通して、古代から現代に至るまでの偉大な哲学者の思想に真摯に向き合い、その過程で批判的思考力や洞察力を身につけ、変化の目まぐるしい、混沌とした現代社会の諸問題を解決できる人間になりたいと思います。

後藤弘樹(城西大学 理学部、米沢中央)

私は数学の教師になるために大学に入り、数学科に進学しました。その夢を夢のままにせず、とにかく数学の基礎から応用までを隅々まで理解し、教員採用試験に合格する為努力し続ける四年間とし、卒業後教壇に笑顔で立てるように大学生活を過ごしていきます。

坂本啓輔(早稲田大学先進理工学部、米沢興譲館)

私が大学生活で頑張りたいことは二つあります。一つ目は勉強です。特に有機化学と英語を頑張ります。二つ目は健康管理です。大学生は生活リズムが乱れがちになってしまっています。メリハリのある生活を送ります。これらのことを意識して、支えてくださる周りの方々に感謝の気持ちを忘れず頑張ります。

瀬野友太郎(中央大学経済学部、山形市立商業)

私の夢は公認会計士になることです。

その試験を受ける前提となる日商簿記検定一級を取得するために、会計の勉強に励んでいます。簿記の知識は今どこに行っても通用する力であり、公認会計士試験はとても難しいと聞きます。しかし、しっかりと自分のものにしたいと考えています。

特別寄稿

励ましの言葉

一般財団法人エネルギー総合工学研究所顧問

寮生への三つのアドバイス

佐藤 憲一



ご紹介いただきました佐藤憲一です。

大学1年2年時に東京興譲館の寮でお世話になりました。奨学金も頂きました。

48年前のことです。大変感謝しております。大学に入るまではガリ勉型で社会のことは何も知らなかったように思います。寮に入ってから共同生活をし、大学のクラブ活動を通じて、大学のクラブ活動を通じて、

視野が広がりました。酒、タバコ、パチンコ、マージャン、ダンスパーティー等一通りやりました。その頃、覚えたタバコの量も次第に増え、1日4箱になっていました。その影響で39歳の時には一過性脳虚血発作になってしまいました。皆さんもカッコつけてタバコを吸うのは止めた方が良くと思います。これが一つ目のアドバイスです。

寮の話では、当時の日銀総裁の宇佐美さんが寮のお祭りにご来場され、「君はこの大学か」「自分と同じだな」などと声を掛けて頂いた有難

い記憶があります。

慶應を卒業し、東電に入りました。6年前の福島原子力発電所の事故は大変申し訳なく思っています。1973年と1979年の2度のオイルショックを乗り越えて脱石油をはかり、原子力、LNG中心の世界一の電力会社となりました。当時「Japan as No.1」と日本がもてはやされ、どの会社もそれ行けドンドン、やる気さえあれば自由に何でもやらせてくれました。私も経済を勉強するために日本経済研究センターに向かい、海外にも留学しました。当時の仲間とは今でも毎年集まっています。

東電の平岩会長が経団連の会長になった時、私は広報の責任者となり、記者会見やマスコミ対応に追われました。仕事柄、意識して社外の人と付き合うようにしてきました。大変な時に助けられるのもどちらかというと社外の人でした。本日のようなパーティーでも物怖じしないで自分の方から笑顔で話しかけた方が良くと思います。米沢有為会には優れた先輩方が沢山おられるので、大いにアドバイスをもらったら良いと思います。「人との出会いを大切に」が2つ目のアドバイスです。

3つ目のアドバイスは、これから採用面接試験を受ける寮生もいるかと思いますが、3つの「め」を大切にということです。人と話す時には、大きな「め」の声で、相手の「目」をみて、ゆっくり「め」に話をするということです。

「め」に関連してもう一つ。鳥と虫と魚の3つの目も大事です。モノを考える時、全体を見渡す鳥の「目」、地に足のついた虫の「目」、流れを見る魚の「目」を持つように心掛けてください。

私は12年前に東電を退職し、現在、エネルギー総合工学研究所というシンクタンクで仕事をしています。総合工学という名称には学術と実業を繋ぐ意味合いを持たせ、英語名はApplied Energyとしています。ここでは、エネルギーの先行きについてビジョンを策定し、技術的課題の解決を国へ提言しています。原子力をどう位置づけるか、地球温暖化の問題と相まって混乱しているのが現状です。

エネルギー安全保障 (Energy Security)、経済性 (Economic Efficiency)、環境適合性 (Environment) をつなげて安全性 (Safety) のいわゆる3E+Sを同時に達成する必要がありますが、ありますが、それと同時に、今の世代だけでなく、孫やひ孫の世代まで考える長期的視点や日本だけのことでなく地球規模的なグローバルな視点が必要となります。まさに複眼が大事だということです。

とです。

最後に第四次産業革命の話です。第一次産業革命が蒸気機関車、第二次産業革命が電気エネルギー、第三次産業革命がコンピュータ、そして今、IoT、AI、ビッグデータなどの最新技術の相乗効果によって生まれる第四次産業革命が進展しています。私は、少子高齢化向かう日本であるからこそ、それらの技術を駆使し、生産性を高め、生活水準を維持していくことが必須であり、他国よりも第四次産業革命の大きな波をとらえることが出来ると考えており、わが国が、「失われた20年」を挽回して、また再び蘇るのではと秘かに期待しています。その時の主役が、今20歳前後の若い寮生の皆様です。是非頑張ってくださいと思います。

今日申し上げたことは、タバコを吸わないこと、人との出会いを大切にすること、3つの「目」を心掛けることの3点です。

皆様のご健闘を心からお祈り申し上げ、励ましの挨拶とさせていただきます。

新入寮生 私の抱負

富取俊馨

(首都大学東京都市環境学部 米沢興譲館)

私は今回、幸運にもこの興譲館寮に入寮できました。現在とても充実した寮生活を

送っています。共同生活をすること、一人暮らしでは身に着けられないコミュニケーション能力や人間関係を学んでいきたいです。よろしくお願いします。

中澤 世阿 (東京大学理科一類、開智)

大学生活の抱負は今年も来年以降も、学力の養成と生活の充足ですが、今年一年に限って具体的に言及するならば、今自分が所属している前期教養課程の持つ特性と矛盾しないという意図も含め、(1)広範な知的領域における事柄に対する興味を失わないこと(2)積極性を意識して行動することの二点です。

野呂岳志 (玉川大学 教育学部、昌平)

私は将来小学校の教師になりたいと考えています。そのために現在教育学部で日々学習しています。また、私は体育会ラグビー部に所属しています。毎日の練習は厳しいですが、リーグ戦2部に昇格できるように頑張っています。

我妻清文 (二松学舎大学文学部、米沢工業)

高校生のときに、遠野物語を読み、民俗学に興味を持ちました。将来は、博物館の学芸員を目指しています。大学生として勉強を第一に考えて生活を送っていきたくと思っています。また、多くの時間を活用して色々な経験を積み、人間的にも大きく成長したいです。

特別寄稿

東京海洋大学 名誉教授

法律そでろ歩き

佐藤 好明

文化大学での講演に興味を持って頂ける様、又より良き理解の為に、次に概要を示します。

第一話 落語「花見酒」。

熊さんと八つつあんが桜の名所で酒を売ろうと、馴染みの酒屋の番頭さんから、酒は勿論、釣銭まで借りて出掛ける。此の釣銭を、酒代として八に渡して、熊が酒を呑む。今度は八が其の釣銭で酒を呑む。こうした釣銭の遣り取りで酒は呑み尽され、売上としては釣銭しか残っていない事に気が付く。「釣銭×取引回数Ⅱ酒の売上総額」の式は、貨幣数量説に一見似るが、如何。商売物に手を出さず、売買を別勘定にすべき事を、経済や法律はどう扱っているか。番頭さんが、熊・八の利益に与える条件があったとすると仮定すると、中世ヴェニス貿易での契約の型に結び付く。この型が鎖国前の我が海外貿易に取り入れられ、その記憶が西鶴の「投げ銀」の語に残っている。投機的投資に対する批判の余映が此の落語の源流か？

第二話 映画「マイフェアレディ」の冒頭で、オード

リー・ヘップバーン演ずる花売り娘の言動をノートに書き留めている探偵 (フェイ・ウォル) がいると、他人に注意されて花売り娘は恐れ慄いて騒ぎ喚く。バーナード・ショー作「ビッグマリオン」が映画の原作だが、それでは、探偵ではなく「デカの犬 (dark)」つまり密告者 (informant) として使われている。密告制度は、中世時代から広く用いられ、必要も効用あった。しかし密告に絡んで処刑されたジョナサン・ワイルドに見られる様に、弊害も極めて大きい。マイフェアレディを驚愕させたのは、偽証による死刑・殺人に追い込まれる危険であった。英国法では1951年に廃止されて過去の遺物になったかに見えるが、アメリカ合衆国の漁業保護法は、違反の通報に報奨金を与えるとの規定を、1970年から七年间置いていた。法違反を告発することの奨励、救済法、偽証等が絡み合った困難な問題を克服出来たか、考えさせられる。

第三話 同じく「マイフェアレディ」で花売り娘の父親・ドウリットルの再婚話の場面では、教会の結婚式に遅

れない様に連れて行ってくれとしつこい位何度も頼む。結婚式の時間が問題になる映画には、他にも「哀愁」(原題 The Waterloo Bridge) がある。ビビアン・リー演ずるバレリーナ見習いの悲劇は挙式の時間に間に合わなかった事で起きた。「シャイロック・ホームズの冒険」の一篇「ボヘミアの醜聞」で、浮浪者に変装したホームズがサンタモニカ教会に十二時五分前に潜り込んだ所を結婚式の証人として引つ張り出されたのは、残り時間が三分しか無く、遅ければ、「合法の結婚でなくなる。」つまり重罪とされるからであった。この様な苛法を避けて融通の利くスコットランドの挙式の方式規定の適用を受け様とする駆け込み結婚が曾て大流行した。婚姻の方式違反を犯罪から外すのに、2012年までかかっているのである。

第四話 十世紀に平維茂が

藤原の諸任側の女性を見逃した事を、兵の道・日本の騎士道の誕生と竹内理三教授は評価しておられる。平家物語でも「昔より女は殺さぬなら」が語られている。英国では、シェイクスピアの「ヘンリー八世」の中でウールゼイ卿に、婦人の特権を言わしめ、

史実でも強姦をした兵を縛り首に処すとの軍令をエドワード三世が出している。イギリス人傭兵ホークウッドは雇い主の枢機卿の命に背いてまで敵の女性を保護した。他面、スペインのレコンキスタ中、イスラム教徒を包囲した後、指揮官が出した降伏条件が寛大過ぎて、掠奪等の期待が期待が裏切られたとの理由でフ

ランス兵が包囲軍から脱走してしまった事件がある。第二次大戦中には、この規則の悲惨な違反の例は多い。ユーゴ内でのソ連兵による強姦に関する抗議を受けてスターリンは、驚くべき返答で開き直ったと言われる。問題は手に余るが、人の業の深淵を覗いて、問題の深刻さに触れる。

俳句同好会

「漆の実」

漆の実秀句抄

主宰 鈴木淳一 選評 (平成29年1月号〜7月号抜粋)

江の電に震う茶房に新茶酌む

小山八州史

乱れ飛ぶ電波空間系蜻蛉

下條怡生

水漬や古地図を覗く周平展

池田弁之助

土牢の土の臭さや青葉閣

片山丹波

簡単服着せられて祖母庭へ出る 登坂かりん

大見得を切って川鶉の孤独かな 濱田扇風

しゃぼん玉五線譜に乗り音となる 太田甘美

冬の夜時のすき間にじっとする 松原薫子

向き合いて鼻水の音だけとなる 佐野 眞

冬の夜のツリーリング前のオートバイ 松坂六義

トノ・エッセイ (2)

「御廟所の慰霊塔」

上杉邦憲

米沢有為会名誉会長

上杉家廟所の西の端に石塔が立っているのをご存知でしょうか？（添付写真）正面には「有縁無縁三界万霊」と彫られており、建立は昭和12年、建立者の名は無く、ただ施主とあります。歴代藩主のみが祀られている墓所に何故このような碑があるのでしょうか。



話は「御廟所の乱」の頃に遡ります。北条家の要請で景虎側に援軍を送った武田勝頼と和睦を結んだ景勝公は、天正6年（1578）勝頼の妹（信玄の五女）菊姫を正妻に迎えます。上杉家で甲州夫人と呼ばれた菊姫は京都伏見の上杉邸で一生を送りますが、景勝公との間に子供は出来ず、慶長9年2月16日（1604）に亡くなります。一方四辻家から迎えた側室

の佳姫は、菊姫逝去と同じ年の慶長9年5月5日男子（後の定勝）を産みます。しかしながら産後の肥立ちが悪かった佳姫は同年8月17日に亡くなってしまいます。このような出来事が重なったことから、「菊姫の死因は、側室が景勝の子を身ごもったことへの嫉妬と悲憤による憤

隅に、有志の手で慰霊塔が建立されました。その後、亡霊を見た者は無い、ということです。

なお史実としては、菊姫は上杉家中から甲州夫人もしくは甲斐御寮人と呼ばれ、質素儉約を奨励した才色兼備の賢夫人として敬愛されたと言われ、伏見では、諸大名、公家衆の妻女たちと音信や贈答を通して交流をはかっており、兄勝頼を手厚く弔った妙心寺の南化玄興に深く帰依していたといえます。慶長8年（1603）冬より病床に伏し、翌9年（1604）2月16日に上杉家の伏見屋敷で死去。享年47才。菊姫死去の報を聞いた景勝公や上杉家臣たちの哀惜の有様について『上杉家御年譜』には「悲歎力キリナシ」とあります。法名は大儀院殿梅岩周香大姉墓所は京都妙心寺龜仙庵（現隣華院）。米沢林泉寺にも墓碑があります。

死」とか「佳姫の死因は、怨霊と化した菊姫の亡霊による祟り」との噂が生まれ、実際に御廟所に菊姫の幽霊が出たのを見たという人が現れたりして、この話は現代まで語り継がれてきたようです。そして、昭和12年（1937）歴代藩主の眠る御廟所の

先日北海道の大樹町で民間企業によるロケットの打ち上げがなされました。これからの挑戦が継続されることを期待しています。▼米沢市長中川勝様の講演で、数値0.55が印象に残りました。財政支出の税収入で補える部分は全体の55パーセントである。地方の自治体はどこも地方交付金があれば、運営できない現実を知りました。

編集後記

▼今本部理事会では、時代に対応するためにまた百三十周年に向けた新たなビジョンについての検討を大滝則忠会長の下で始めようとしています。

▼上杉邦憲様は、北海道スペースポート実現を目指すNPO法人の理事長をされています。

病院救命救急センターのものでした。幸い命を取り留めました。財政基盤の弱い一つの市や町では、救急ヘリを維持管理することは不可能です。

▼東京支部の歓迎会で励ましの言葉を述べていただいた寮・奨学生田の佐藤憲一様に補足して文章にまとめてもらいました。これから社会人として生きていくのに大変参考になることでしょう。東京支部だよりは、学生に向けても発信していきます。

▼NHKの終戦記念特集番組で米国空軍の爆撃機B29による日本本土の焼夷弾による無差別空襲がなぜ実施されたのかを放送しました。

この作戦を指揮した米国空軍の中心人物は「戦争は破壊である」と明言している。（川合記）

編集委員メンバー

委員長

米野 宗禎／佐藤 好明
鈴木 信之／倉田 和子
太田ひろみ／濱田 吾愛
近藤 郁子／宮坂 孝夫

園遊会のご案内

日時：平成29年10月29日（日）

午後1時～3時 12時30分受付開始

会場：小石川後樂園・涵徳亭

多数のご参加をお待ちしています。

第23回 文化大学のご案内

演題：本来の私を生きたら

―教育の希望―

講師：安積 力也（前基督教独立学園 校長）

日時：平成29年9月30日（土）午後2時～

会場は東京興譲館寮

第24回 文化大学のご案内

演題：法律をそろ歩き

講師：佐藤 好明（東京海洋大学名誉教授）

日時：平成29年11月12日（日）午後2時～

会場は東京興譲館寮